

海洋情報の提供

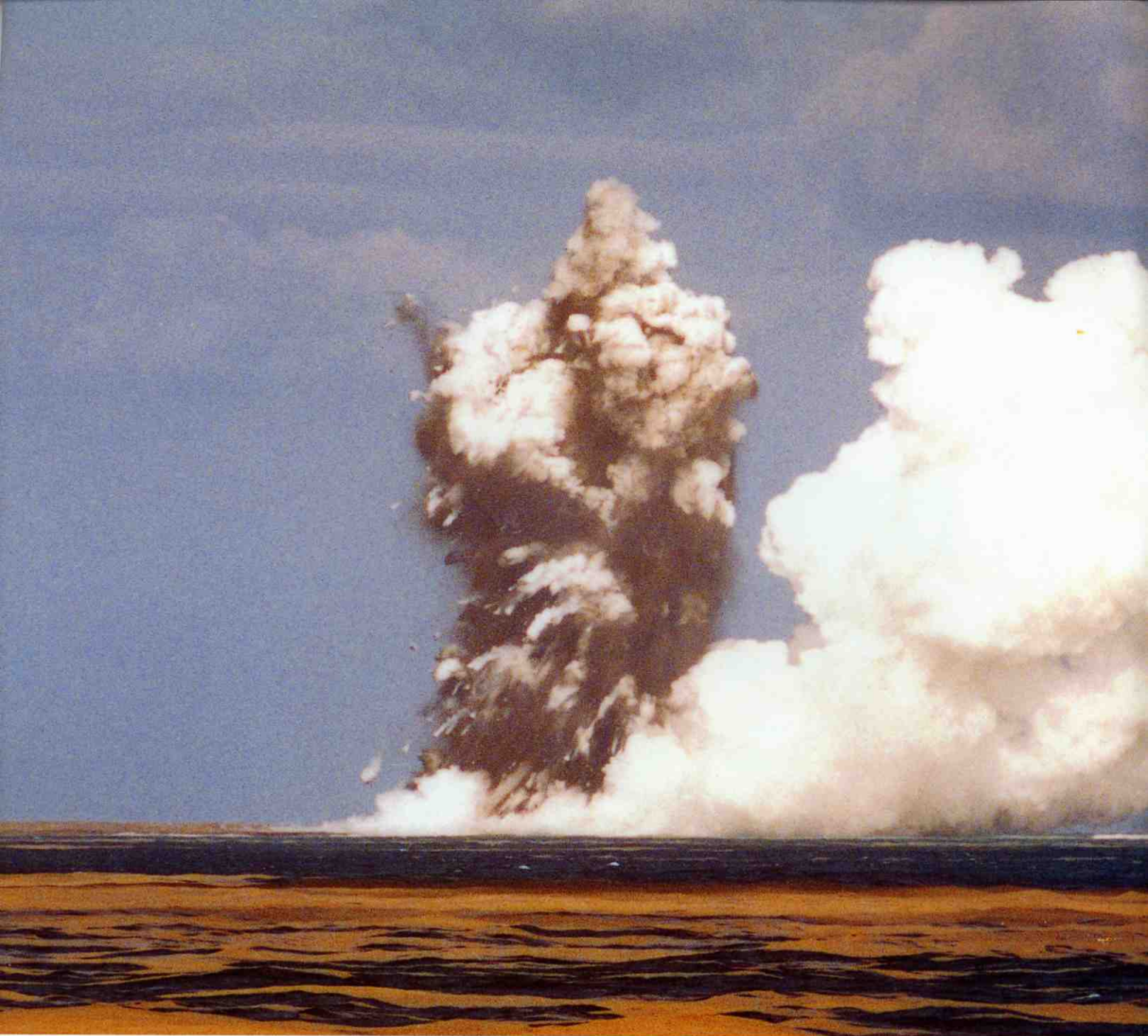
— ユーザーのニーズにあった情報の提供 —



海上保安庁



海洋情報部



**美しい海を守るためITを駆使して
皆様に有益な情報を提供します**



海底火山噴火（福岡ノ場）

正確でフレッシュな海洋情報で未来を拓く

平成14年4月1日、海上保安庁水路部は海洋情報部へと生まれ変わりました。

「水路」という名称は、明治4年兵部省海軍部に水路局が設置されて以来130年余りにわたって使用されてきました。海の中は、陸上と違って一寸先の進路がどうなっているか見ることはできません。このため、安全な航海のためには、航海者は海図などの航海用刊行物を用いて、あらかじめ航海計画を立てるとともに、航海を始めた後は、GPSや灯台などを頼りに自船の位置を調べ、その先の進路が安全かどうか確かめながら進みます。このためには、最新の信頼できる情報が必要不可欠です。私たちは、これまで正確でフレッシュな航海用刊行物を提供してきました。

一方、近年ではマリレジャーの普及、地球温暖化などの環境問題あるいは地震・火山噴火による災害の未然防止への関心の高まりなど、海洋情報に対する社会的なニーズは大きく変化してきました。また、ITの進展に伴って、水路測量などの国際基準も大きく変化しつつあります。

私たちは、社会の多様なニーズに応え、国民が必要とする海洋情報を迅速で適切に提供するために、組織の名称を「海洋情報部」に改めることを決意しました。

ITの進展によって海の情報も大きく変貌を遂げようとしています。私たちは、最先端の海洋調査技術をフルに活用して、国民が必要とする海洋情報を適切に、正確に、そしてスピーディーに提供していきます。

海の調査と情報の提供を通じて、海洋国日本の未来を支え世界に貢献する海洋情報部に御期待ください。

目次

海洋情報の提供

日本海洋データセンター	2
海の相談室	3

航海安全のための情報

海図	4
水路書誌	5
電子海図	6
船舶交通安全通報	8

管轄海域の基礎情報

海の基本図	10
大陸棚調査	11

海洋環境の保全

海の世界	12
------	----

災害への対応

地震調査研究の推進	13
火山噴火予知計画への参加	14
沿岸域における情報整備の推進	15
被害を最小にする情報の整備	15

最新技術による調査

港湾の測量	16
水深測量	17
海水の動き	18
日本列島の精密位置	20
海洋の研究	21

世界を結ぶ

国際協力	22
------	----

勢力	23
----	----

測量船	24
-----	----

組織	25
----	----